

PCP施工要領書

小型合併浄化槽用（自動車荷重T-6・歩行者荷重対応）
プレキャストコンクリート 基礎スラブ及び支柱

浄化槽を設置するとその後長い年月にわたり使用することになります。したがってその住宅に応じた浄化槽を選定し、適正に設置することが浄化槽の機能を維持する上で大変重要になります。

1.1 設置工事

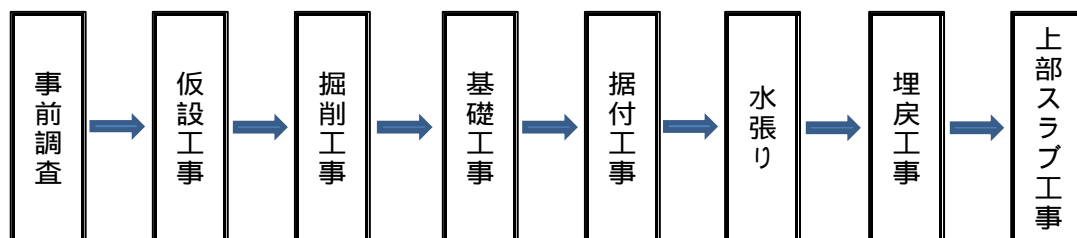
設置工事は工事業の登録または届出がされている業者に発注します。また、浄化槽整備士の資格を有する者が、施工または監督することとされています。工事の標準的な内容は次のようなものです。

1.2 設置の手続き

浄化槽を設置するときには、事前に届出が必要です。新築・増築に伴うものか、くみ取り便所の水洗化に伴うものかなど、工事の規模などにより手続きが異なります。また、補助や融資の制度がもうけられている場合があります(事前申請)ので、これらについて、あらかじめ工事業者や所轄官庁などに相談・確認することが望まれます。

2.1 標準的な工事の手順と概要

一般住宅に設置する浄化槽の標準的な工事の手順は以下の通りで、このほか配管工事や電気工事を並行して行う。



2.2 事前調査

工事を行うにあたり、設置者(施主)立会いのもと、実際に浄化槽の設置予定現場の状況を調査する。

- ・設置場所の広さ。
- ・配管路の状況、放流先。
- ・支障物、埋設管。
- ・地盤、地下水位、湧水。
- ・工事用電力、工事用水の確保。
- ・搬入路、搬出路。
- ・残土、既設浄化槽の処理方法。
- ・浄化槽の施工時や設置後の環境に及ぼす影響。
- ・その他関係官公庁への届出状況のなど。

調査結果をもとに施工計画を立て、工事の準備をする。

3.1 仮設工事

整地を行い浄化槽の位置を決めるために地縄張り(縄を張って配置を決める)を行なう。
基準点からのレベル、位置、方向、芯を出すためのやり方(位置、高さなどを表示するための仮設物)を行なう。



3.2 掘削工事

バックホー等の機械を用いて基礎地盤まで土砂を掘削する。



オープンカットの適用例。

敷地に余裕がある。
固くて崩れにくい良質な地盤。
湧水がない又は少ない。



山留め工法の適用例。

敷地が狭い。
軟弱な地盤。
建物や道路に接して掘削。
湧水が多い。

湧水が多い場合は、水中ポンプで汲み上げる。

3.3 基礎工事

割栗石地業

地盤を強固にするため割栗石(基礎に使う砕石)を敷いて、突き固める。次に、割栗石の隙間に砕石を敷き詰め、さらに突き固める。



敷きモルタル(粒度調整砕石)

基礎スラブ・支柱・浄化槽本体のレベルをとるのに重要な作業であるため、モルタルの敷き均しは丁寧に行う。



4.1 基礎スラブ据付

2枚の基礎スラブにズレがないように、レベルをとりながら据え付ける。
基礎スラブは、フランジ金具およびプレートで連結する。また、フランジ金具はモルタルを充填する。



吊り角度は60度以下とする。



吊金具 アイボルト M20



めがねレンチ (24)



フランジ金具 ボルト M16



プレート t=6.0 ボルト M16



基礎スラブ据付完了



フランジ金具モルタル充填

4.2 支柱据付 (自動車荷重 T-6)

基礎スラブ・支柱を清掃し、4隅に支柱を据付ける。
支柱は、基礎スラブに完全に設置する手前(少し浮いた状態)でボルトをインサートに合わせ
仮締めし、吊り下ろした後にレンチで確実に締める。



吊金具 アイボルト M16



メガネレンチ (30)



ボルト M20



製品据付完了



寸法確認

5.1 浄化槽据付

基礎スラブを清掃し、浄化槽を据付ける。

浄化槽を吊上げるときは、必ず4点吊りで行い吊り角度は60度以下とする。

湧水がある場合は、浮力防止工事を行う。

据付け時に長手方向・短辺方向ともに水平を出す。

据付け後、流入管・放流管の出来上がり高さの最終確認を行う。



レベル確認

5.2 水張り・埋戻し

満水にして24時間以上漏水しないことを確認後、埋戻しを行う。(建築基準法施工令第33条)

埋戻しは、小石などが混入していない良質な土砂を用いる。

前後左右均等に埋戻す。

水締め、突き固めを交互に何回かに分けて行う。

埋戻しの途中で何度か水平確認を行う。



水張りの目的

槽本体を安定させ、埋戻し時に水平が狂うことを防止する。

埋戻しの際、土圧による変形を防ぐ。

水平目安線等から水平を確認する。



漏水確認



埋戻し

マンホール蓋、流入管、放流管、接合部から土砂が入らないような対策をしておく。



水締め

5.3 配管、電気工事、埋戻し



埋戻しをした後、十分な締め固めを行なう。

6.1 上部スラブ工事 型枠・配筋

維持管理の作業を容易にするため、雨水が槽内に浸入することを防ぐために上部スラブコンクリートを打設する。また、浄化槽の浮力を防止する役割もある。



D13-@200 ダブル



上部スラブ用 さし筋D13



上部スラブ 加工鉄筋



組立て筋

6.2 コンクリート打設・表面仕上げ

上部スラブコンクリートは気泡・豆板等に注意しながら棒振動機を使用して打設する。
コンクリート表面は金ゴテ等で丁寧に仕上げる



6.3 コンクリート養生・型枠取外し

コンクリートは所定の強度に達するまで養生する。



準備していただく工具類等



玉かけワイヤー(フック付)
2.0m - 2本



めがねレンチ
サイズ 24 - 2本
サイズ 30 - 2本



フランジ金具部
充填用モルタル



株式会社 馬渡商会

本社 / 〒843-0001 佐賀県武雄市朝日町大字甘久3498-2
TEL (0954) 23-4145 FAX (0954) 23-1775

佐賀営業所 / 〒849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南3丁目2-24
TEL (0952) 40-8005 FAX (0952) 40-8006



080001-(1)
株式会社日本スマートエナジー

このパンフレットは、株式会社馬渡商会が、印刷プロセスで使用する1.95kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、

電力量30.79kWh(CO₂排出量換算で19.8kg)を削減しました。

当CO₂削減認証は株式会社日本スマートエナジーがこの印刷システムを厳格・公正に審査・確認して与えられたものです。



株式会社馬渡商会は、MCPIによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しています。